議員視察研修

（平成18年7月3日～5日）

平成18年7月3日から5日までの3日間で、四国電力の電力エネルギーの研修視察に行きました。研修先は四国電力原子力保安研修所と伊方町役場・原子力保安検査官事務所及び伊方原子力発電所です。

保安研修所では主として原子力発電所の運転・保修に関する教育訓練を行い、技術や知識の向上を図るとともに、設備や運転に関する安全研究を行っています。

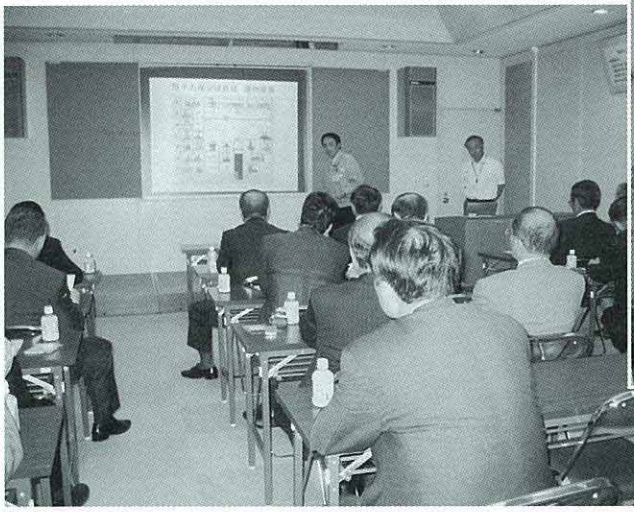
1、シミュレーターを使った起動・停止や事故対応訓練

2、保修員を対象に機器の分解・検査・修理などの実技訓練

3、発電所の安全性を、より一層向上させるための安全評価技術の研究やヒューマンパフォーマンス向上の研究

伊方原子力発電所は四国の最西端、九州に向けて細く突き出した佐田岬半島に位置する伊方町にあります。昭和52年より営業運転を開始し現在に至っています。

また太陽光発電や風力発電などの新エネルギーへの取り組みも一部事業化が進んでいます。特に四国で最大級の風力発電は現在11基稼働し売電収入は3億6,000万円で将来的には60基を目指しているそうです。



静岡県市町議会議員研修会

開催日　平成18年7月26日（水）

場　所　静岡市「グランシップ」

研修内容　**時局展望**

政治評論家　岩見隆夫　講師

勝つ陣営・負ける陣営

作　家　加来耕三　講師

後期高齢者医療制度の創設について

現行の老人医療制度に代わり、加入者（75歳以上の高齢者）から保険料を徴収して広域連合が運営する独立した保険制度が平成20年4月から実施される。

都道府県単位で全市町村が加入する広域連合を平成18年度末までに設立する。